

懇談会等での意見一覧

- 1 地区別懇談会・・・1ページ
- 2 市民ワークショップ・・・20ページ
- 3 中学生会議・・・29ページ
- 4 高校生会議・・・30ページ
- 5 団体活動に関するアンケート調査・・・31ページ
- 6 市民提案・・・46ページ

第 6 次富士宮市総合計画策定に伴う

地区別懇談会開催結果とりまとめ

【目次】

I	開催結果概要について	2
1	開催概要	2
2	「富士宮市のまちづくりに期待すること」の整理	3
II	地区別懇談会の開催結果	7
1	第 1 回地区別懇談会開催結果報告	7
2	第 2 回地区別懇談会開催結果報告	9
3	第 3 回地区別懇談会開催結果報告	12
4	第 4 回地区別懇談会開催結果報告	14
5	第 5 回地区別懇談会開催結果報告	17

令和 6 年 1 1 月

I 開催結果概要について

1 開催概要

各自治区の区長に参加を依頼し、グループインタビュー形式にて、地域の現状と課題を把握するとともに、市政に対する要望を聴取した。

開催スケジュールならびに進行プログラムは次のとおり。

図 開催スケジュール

回	開催日	曜日	時間	会場
1	6/21	金	19:00-20:30	芝川公民館
2	7/2	火	19:00-20:30	市役所特大会議室
3	7/26	金	19:00-20:30	上野会館
4	8/7	水	19:00-20:30	大富士交流センター
5	9/27	金	19:00-20:30	市役所特大会議室

図 プログラム

時間	プログラム	担当
19:00	開会あいさつ 総合計画の説明、地域の課題等について	15 分 市
19:15	主旨説明	2 分 ※MURC
19:17	テーマ① 地域の現状と課題について	30 分 MURC
19:47	テーマ② 今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として 想定されること	15 分 MURC
20:02	テーマ③ 富士宮市のまちづくりに期待すること	20 分 MURC
20:22	発表(1 地区 1-2 分)	5 分 MURC
20:27	閉会あいさつ	3 分 市
20:30	閉会	市

※MURC＝三菱リサーチ＆コンサルティング株式会社(富士宮市総合計画策定支援業務 事業者)

2 「富士宮市のまちづくりに期待すること」の整理

各回で把握した意見を第5次富士宮市総合計画の分野ごとに整理し、各意見の論点を抽出・整理した。

分野	項目	把握した意見の論点
環境	地球環境	- カーボンクレジット導入による市の魅力向上 - 太陽光発電施設の適正管理
	生活環境	ごみの清掃・回収問題への対応
	自然環境	山林の適切な管理の徹底
産業	農林水産業	- 農地の活用(耕作放棄地対策、宅地への転用など) - 圃場整備された農地の規制緩和による活用促進 - 耕作放棄地のスポーツ公園などへの転用 - 所有者に対する耕作放棄地の適正管理に向けた勧告
	工業	工場誘致への取組
	商業	- 世界文化遺産センター、浅間大社等を活用した商店街活性化 - 歩けるまちづくりに資する商店街活性化
	観光	- 富士山景観の活用(沿道草刈りなど) - スポーツの全国大会誘致 - 観光スポットまでのアクセス整備 - 浅間大社の門前町としての商店街整備 - 宿泊施設の整備 - 長者山田貫神社の活用 - 富士宮駅から商店街までの回遊ルート整備 - 東京駅から富士宮駅までの直通電車の整備 - 古い文化遺産の活用 - リニア開業を見据えた特急ふじかわの三島方面への接続 - 湧水の活用と全国発信 - やきそば以外の多様な食の発信 - インバウンドへの対応(多言語化等) - 拡大するキャンプ需要の取り込み - 集客施設整備による観光客の誘致 - 観光スポットまでのアクセス整備
	労働・雇用	- まちづくりと産業振興を同時に進める - 若者の転出を防ぐ産業振興 - 企業誘致による若者の働く場所の確保 - 若者の働く場所の確保 - 人口増につながる働く場所の確保 - 成長産業の誘致(データセンター、プログラマー)
健康福祉	子育て	こどもの学費等に対する補助

分野	項目	把握した意見の論点
	医療	・ 緊急手術を執刀できる外科医の招致 ・ 産婦人科の維持・誘致 ・ 執刀できる外科医の招致
教育文化	スポーツ・レクリエーション	・ 高齢者向けスポーツ施設の整備 ・ スポーツをテーマとしたまちづくりの推進 ・ 大会開催のできるスポーツ施設の整備
都市整備	市街地整備	・ アパート・マンションの乱開発の抑制 ・ 調整区域の市街化編入による宅地整備 ・ コンパクトシティの推進
	幹線道路・交通網	・ 幹線道路拡幅によるアクセス性向上 ・ 都市計画道路の整備推進 ・ 交差点の渋滞対策 ・ 丁字路などボトルネック箇所の解消 ・ 西側地区の道路整備の推進
	生活道路	・ 側溝への蓋など狭隘路の改善 ・ 道路の拡幅 ・ ボトルネック交差点の解消 ・ 身延線の高架化 ・ 右折帯の設置 ・ 橋梁整備による市役所へのアクセス改善 ・ 広域幹線道路の整備 ・ 拡幅や歩道など道路整備の推進 ・ 側溝への蓋など狭隘路の改善
	景観	・ 富士山のビューポイントの情報発信 ・ 富士山が見えないときの世界遺産センターのサービス提供
	治山・治水	・ 浸水区域対策 ・ 土砂災害警戒区域の対策 ・ 避難場所までの安全な経路の確保 ・ 土砂災害警戒地域における避難場所としての高台整備 ・ 家屋の耐震化、家具転倒防止対策への市の支援 ・ 富士山の噴火対策
市民生活	防災	・ 実際の災害を想定した防災訓練の実施 ・ 災害対策に対する市の支援 ・ 避難所で利用可能な自律型トイレの設置 ・ 土砂災害危険地域で安全に利用できる避難所の整備 ・ 富士山噴火警報時の観光客の避難誘導
	消防	・ 救急車両の拡充

分野	項目	把握した意見の論点
	防犯	・ 駐在の増員など防犯対策 ・ 交番の地域巡回の充実
	公共交通	・ 公共交通機関の充実 ・ バス停へのアーケード型ベンチの設置 ・ 公共交通網の整備 ・ 身延線西富士宮駅－沼久保駅間への中間駅の設置
	住宅・住環境	・ 移住・定住対策としての市営住宅の整備 ・ 道路、学校、医療、公共交通などの充実 ・ 市街化調整区域における分家住宅の規制緩和 ・ 高齢者の住まいとしての市営住宅の維持管理 ・ 市街化調整区域における住宅整備 ・ 移住者に対する農地転用による宅地利用の適用 ・ 高齢者住宅等の計画的な整備
	コミュニティ活動	・ 区民館の有効活用 ・ 地域課題の相談窓口となる団体の明確化 ・ 高齢者の引きこもり対策 ・ 子育て世帯に対する地域活動の啓発・啓蒙 ・ 子育て世代への支援(敬老会補助の転用) ・ 老朽化した公民館を地域拠点として更新 ・ 自治会の枠組(区、町、班)の見直し ・ 南部地域への中学校の新設 ・ 町内会長、区長の負担軽減 ・ 宮おどりの普及 ・ コミュニケーションの場の整備 ・ 広報ふじのみやなどのデジタル化 ・ 身体的負担の大きな地域活動の見直し ・ 自治会加入の促進(意義・メリットの明確化) ・ 自治会改革(女性役員登用) ・ 子供会事業補助金の人数要件の緩和 ・ コミュニティ活動への補助 ・ 無料 Wi-Fi スポットの整備 ・ 回覧版の電子化
	消費生活	・ 移動販売の継続実施
市民参加・ 行財政	地方創生	・ 婚活イベント等の開催 ・ 上野エリアの魅力向上とその周知 ・ 移住者による空き家、商店街の活用 ・ 市内の人口バランスの是正 ・ 人口増加に向けた対策の検討

分野	項目	把握した意見の論点
		・ 産業誘致や観光振興など移住者が増える政策の展開 ・ 農業等の担い手となる移住者の受入環境整備
	市民協働	・ まちづくりに関する市民と行政の対話促進 ・ 富士山と浅間大社を活かしたまちづくり ・ 国際文化都市の具体化
	行政運営	・ 住民サービスの利便性向上 ・ 市中心部への行政機関の集約 ・ 慎重な箱物整備の推進
その他		・ 計画の進捗状況の提示 ・ 富士宮市の将来ビジョンが必要 ・ 人口減少の原因分析と対策 ・ 住民説明会等におけるネガティブではなくポジティブな資料の提示 ・ 人口増加地域との比較分析に基づく取組 ・ 総花的な計画の回避 ・ 10年後の富士宮市の具体的な姿の提示 ・ 総合計画の一丁目一番地を人口減少と子育てにすべき

Ⅱ 地区別懇談会の開催結果

1 第1回地区別懇談会開催結果報告【芝川地区】

【開催日時・会場】

日時：令和6年6月21日（金）19:00～20:30

会場：芝川公民館

第1回地区別懇談会の主な意見について

テーマ①：地域の現状と課題について

- ・ 主な意見として、高齢化、人口減少、生活道路、防災などがあげられた。
- ・ 高齢化に関して、住民の高齢化に伴い施設入居者が増えたことによる空き家の増加、農家の廃業に伴う休耕地など空き地の増加があげられた。また、コミュニティバスの便数が少なく、免許を返納した高齢者にとって不便である点などがあげられた。
- ・ 人口減少に関して、若い世代が県外などへ進学・就職したまま、地元には仕事がないため戻らず、区長をはじめ自治会の役のなり手が不足している点や、少子化により小学校の統廃合が懸念される点や子供会や祭典といった地域文化の継承に関する問題などが挙げられた。
- ・ 生活道路に関して、狭隘な道の拡幅や通学路の安全確保などがあげられた。
- ・ 防災に関して、河川整備や土砂災害への対策など、治山・治水に関する課題が取り上げられた。
- ・ その他、移住者の一部のマナーの問題などが挙げられた。

テーマ②：今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として想定されること

- ・ 主に移住・定住、防災に関する意見がみられた。
- ・ 移住・定住に関して、地域の空き家を有効活用して移住・定住を促すことや行政のバックアップによる移住・定住促進などがあげられた。
- ・ 防災に関して、河川氾濫など水害時には集落が孤立する恐れがあるが、住民の防災意識が希薄なため、意識を高めていくための取り組みなどがあげられた。

テーマ③：富士宮市のまちづくりに期待すること

【観光】

- ・ 富士山の景観を活かすことがポイントであり、沿道の草刈りなどを進めてほしい。
- ・ 富士宮市に滞在するための宿泊施設がないので、整備してほしい。
- ・ スポーツの全国大会を誘致し、富士山が見えるまちであることをPRすると良いのではないかと。
- ・ インバウンドの人气がありそうなスポットがあるが、アクセスが悪いため、整備が必要である。
- ・ 浅間大社へのメインロードとして商店街を整備できないか。浅草の浅草寺のようなイメージである。中心市街地

が活性化すると周辺へも波及する。

【幹線道路】

- ・ 市内の幹線道路を拡幅することで、中心市街地などへのアクセスが向上し、地域が活性化するのではないか。

【生活道路】

- ・ 側溝に蓋をするなど、狹隘路の改善をしてほしい。通学路が狭く、危険である。
- ・ 道路の拡幅をお願いしたい。特にボトルネックとなる交差点は早急に改善が望まれる。

【治山・治水、防災】

- ・ 浸水区域や土砂災害警戒区域があるので、その対策をしてほしい。
- ・ 避難経路に浸水区域があるため、避難場所が分散するよう、何力所か整備してほしい。
- ・ 土砂災害警戒地域では建物を整備するよりも、安全な高台へ車で避難できるよう、駐車スペースを設ける方が良い。災害時以外は、景観の良い観光スポットにもなる。
- ・ 家屋の耐震化や家具転倒防止などの対策を進めるにあたり、市の支援が必要である。

【防犯】

- ・ 毎日のように防犯無線を通じて注意喚起があるため、不安を感じる。そのような不安がないよう、例えば駐在を増員するなど、対応をお願いしたい。

【居住環境】

- ・ 市営住宅を整備するなど、移住・定住に取り組んでほしい。
- ・ 地区外へ転出した人たちが暮らしやすいよう、道路、学校、医療、公共交通などを充実してほしい。

【コミュニティ活動】

- ・ 区民館が日常的に利用されていない。市の主催する健康講座を開催するなど、有効活用が求められる。
- ・ 地域についての相談や依頼をする場合の窓口となる団体を明確化していただけると良い。
- ・ 自宅に引きこもってしまう高齢者も多いため、シニアクラブの活用や散策路の整備など、外出を促す取り組みが求められる。

【消費生活】

- ・ 大型チェーン店やコンビニが移動販売をおこなっている。店舗で購入するよりも割高であるが、移動販売を楽しむにしている住民も多く、続けてもらいたい。

2 第2回地区別懇談会開催結果報告【大宮東・大宮中地区】

【開催日時・会場】

日時：令和6年7月2日（火）19:00～20:30

会場：富士宮市役所 特大会議室

第2回地区別懇談会の主な意見について

テーマ①：地域の現状と課題について

- ・ 主な意見として、少子高齢化に伴う自治会活動への影響、空き家・空き地、防災などがあげられた。
- ・ 高齢世帯の割合が増えており、区長をはじめ自治会の役を輪番で担うことが難しくなっていることや、高齢を理由に脱退する世帯が増え、今後の自治会活動への影響が懸念されることなどがあげられた。また、少子化により、子供会の活動ができなくなっている現状が上げられた。一方、分譲住宅や集合住宅の整備に伴い住民が増えている区もみられるが、自治会への加入率が低いことが課題としてあげられた。
- ・ 高齢化に伴い、空き家や空き店舗が増えているが、管理が不十分な物件が散見されることなどがあげられた。また、生鮮産品など最寄品店舗の廃業に伴い、買い物難民が発生していることがあげられた。さらに、農地や茶畑、山林が管理されず、荒廃地となっているところがみられ、ごみの不法投棄や病虫害・鳥獣害などの問題があげられるとともに、道路への倒木による交通への支障などがあげられた。
- ・ 防災に関して、個人情報との関係から要支援者の情報が十分把握できず、災害時の救援における不安などがあげられた。また、土砂災害の懸念がある避難路への対応や老朽化した橋梁、発電所の水路決壊への懸念などがあげられた。
- ・ その他、コロナ禍で中断した自治会活動をどのように戻していくかといった課題があげられた。

テーマ②：今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として想定されること

- ・ 自治会活動の維持に向けた提案がみられた。30～40代の共働き世帯も参加しやすいよう、活動の一部外部委託や、LINEなどのアプリを活用した連絡網の構築など、負担をできるだけ低減させる取り組みがあげられた。また、お祭りや敬老会などの行事活動を通じた住民同士のコミュニケーションについてもあげられた。
- ・ さらに、生活道路における通過交通への対策やスポーツ活動を通じた若年層の転出抑制、防災対策などがあげられた。

テーマ③：富士宮市のまちづくりに期待すること

【観光】

- ・ インバウンドの観光客が増えてきているが、宿泊せず立ち寄るだけなので、滞在し、回遊するようなまちづくりを官民で進めてほしい。
- ・ 長者山田貫神社を活用できないか。勝負事にまつわる神社で平日でも参拝客が多い。
- ・ 富士宮駅から富士山世界文化遺産センターに行くための多言語案内標識がない。商店街に誘導するような回遊ルートとあわせて整備できると良い。

- ・ 東京から富士宮駅まで直通電車を運行し、浅間大社までの道を整備することができないか。三嶋大社の取り組みが参考になる。

【商業】

- ・ 静岡富士山世界文化遺産センターや浅間大社といった資源を活かしつつ、空き店舗活用を進め、シャッター通り商店街を「にぎわいのあるまち」にできると良い。

【農林水産業】

- ・ 耕作放棄地対策や宅地転用許可など農地の活用が望まれる。

【労働・雇用】

- ・ 人が住みやすいまちづくりと産業振興を同時に進めることで、若者が暮らし続けることができるようにしてほしい。
- ・ 若者が転出していくのは、まちに魅力がないか、仕事がないかのいずれかである。経済的な面は大きいので、産業振興が大切である。
- ・ 若者が地元に着定するよう、企業誘致をしてほしい。

【医療】

- ・ 富士宮市立病院に緊急手術ができる外科がないため、市内で緊急手術が受けられるようにしてほしい。

【幹線道路】

- ・ 中部横断自動車道へ接続する道路の使い勝手が悪いので、都市計画道路の整備をしっかりと進めてほしい。

【生活道路】

- ・ 身延線により踏切渋滞が発生しているため、高架化など改善を進めてほしい。
- ・ 右折帯を設けるなど道路環境を改善してほしい。

【治山・治水】

- ・ 富士山の噴火対策が望まれる。

【防災】

- ・ 市から自治会の防災担当向けに避難所の運営についてレクチャーがなく、防災訓練も開催されていないため、災害時に不安である。
- ・ 災害対策を地域だけで進めるには限界があるため、もう少し市に積極的に動いてもらいたい。

【消防】

- ・ 富士登山で事故が発生すると、富士宮市の消防が対応しなければならず、その間、救急車両が出払ってしまう。市民の安全を守るため、車両を増やすなど対応してほしい。

【公共交通】

- ・ 公共交通機関が不足し不便なため、充実が望まれる。
- ・ バス停に2～3人座れるアーケード付のベンチを設置してほしい。商店街を利用する高齢者が気軽に休めるような場所があると良い。

【コミュニティ活動】

- ・ 親世代の地域活動に対する理解を深め、子供会などの活動への参加を促すことが求められる。
- ・ 敬老会の活動に対する補助を子育て世代への補助にまわしてはどうか。
- ・ 公民館が老朽化しているため、地域の防災拠点と学習拠点になるような施設を区単位で整備してほしい。
- ・ 高齢化が進むなかで、自治会の枠組(区、町、班)を維持するのもそろそろ限界なので、見直しが求められる。

【義務教育】

- ・ 南部地域に中学校が無いため、近くにあると良い。

【スポーツ・レクリエーション】

- ・ 高齢者の健康維持を図れるようなスポーツ活動をするための施設があるとよい。
- ・ 富士市に比べてスポーツ施設の整備が進んでいない。地域ごとに多目的に利用できるスペースがある公園やスポーツ合宿できる施設を整備するなど、スポーツをテーマとしたまちづくりができないか。

【地方創生】

- ・ 婚活イベント等を進めてほしい。

【市民協働】

- ・ まちづくりに対して、市民と行政が対話し、市民一人一人が責任を持って取り組むことが重要である。
- ・ 富士山と浅間神社を活かした、市民にやさしいまちづくりを推進してほしい。
- ・ 国際文化都市という言葉は抽象的なイメージのため、具体的に分かりやすくしてほしい。

3 第3回地区別懇談会開催結果報告【上野・北山・上井出・白糸地区】

【開催日時・会場】

日時：令和6年7月26日（金）19:00～20:30

会場：上野会館

第3回地区別懇談会の主な意見について

テーマ①：地域の現状と課題について

- ・ 主な意見として、土地利用規制の見直し、地区全体の高齢化、耕作放棄地、自治会活動に関する意見があげられた。
- ・ 市街化調整区域のため、住宅開発や企業誘致が進まず、その見直しに向けた要望や、農地転用による宅地整備に関する意見があげられた。
- ・ 若い世代の転出が進み、地区全体が高齢化する一方、交通の便が悪いため、買い物を移動販売車に頼っている現状や、農家の高齢化が進み、今後、耕作放棄地が増加することへの懸念があげられた。一方、新規就農を支援するための農地整備や対外的なPRの展開などの提案がされた。
- ・ 区の役員の仕事が多岐にわたるため、若い世帯だけでなく、高齢世帯も役員を担うことを避けるようになっていく現状があげられた。消防団や神社の祭事の担い手がなく伝統行事や伝統文化の途絶に対する懸念があげられた。
- ・ 一方、区の役員の負担をできるだけ軽減するよう、グループLINEを活用した会合や回覧版の案内の取り組みがあげられた。また、時代の変化にあわせて地域における区の役割の見直し・改善を求める意見があげられた。

テーマ②：今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として想定されること

- ・ 就農促進に向け、「う宮～な」のようなファーマーズマーケットの整備など、稼げる農業への転換に向けた提案がされた。
- ・ 自治会活動へ若い世代の参画を促すため、地区運動会の開催など多世代交流による相互理解の促進や地元企業による地域活動への理解・貢献を促す制度設計などがあげられた。また、法規制による制約への対応として、特区制度の活用などがあげられた。

テーマ③：富士宮市のまちづくりに期待すること

【地球環境】

- ・ カーボンクレジットを導入して市としての魅力向上に資するアピール材料とできないか。

【生活環境】

- ・ ごみの清掃、回収の問題についてはもう少し行政として音頭を取ってほしい。

【農林水産業】

- ・ 過去に実施した圃場整理により、分家住宅を建てることができないなど、足かせになっている。土地の有効活用ができなければ、今後、相続放棄につながる恐れがあるため、見直しが必要である。

【工業】

- ・ 市としての発展を考えるのであれば工場の誘致も重要である。

【商業】

- ・ 商店街が疲弊した街は繁栄しないため、歩けるまちづくりを目指すうえで元気な商店街が必要である。

【医療】

- ・ 産婦人科が少なくなっているため、子育ての面で不便を感じる。
- ・ 救急医療センターに専門医が常駐していないため、対応をお願いしたい。また、手術を執刀できる医師がいないため、育成・確保をお願いしたい。

【市街地整備】

- ・ アパートやマンションが増えているため、過剰な開発を避け、良好な都市環境を実現するようにしてほしい。
- ・ 市街化区域を広げて住宅整備を促すなど、人口拡大の余地を増やしていくのが良いのではないかな。

【幹線道路・交通網】

- ・ 小泉若宮交差点の渋滞対策が求められる。ヒト・モノの流れを円滑にする上で道路は重要であり、企業誘致を実現する上でも重要。

【防災】

- ・ 避難所で利用可能な自律型トイレを準備してほしい。能登半島地震ではトイレに困っていたという話を聞いた。

【コミュニティ活動】

- ・ 町内会長や区長の仕事の負担が大きく、自治会からの脱会の要因の一つとなっているため、負担軽減に努めてほしい。
- ・ 区としては宮おどりの踊り手を集められない状況にある。宮おどりが市全体のものになっていないと感じる。

【地方創生】

- ・ 上野エリアは、食料自給率が高く、水資源が豊かで災害が少ない安全なエリアである。歩いて楽しめるエリアとして遊歩道を整備するなど、上野エリアの魅力を向上し、広く周知していけると良い。
- ・ 移住者を集めることで、空き家や商店街の活用をしたり、魅力的な商品やサービスを開発したりする上での新しいアイデアを生み出すことができると良い。
- ・ 市内でも人口の多寡に格差があり、バランスが取れていないため、その解消を図る計画・施策があると良い。

【行政運営】

- ・ 住民票の交付など、住民サービスがどこでも受けられるようにしてほしい。市民が均質なサービスが受けられるようにし、上手にアピールすれば、外からも人が集まるのではないかな。
- ・ 行政機関を市の地理的中心部に移動させることで、市の全体像が変わるのではないかな。

4 第4回地区別懇談会開催結果報告【大富士・富士根南・富士根北地区】

【開催日時・会場】

日時：令和6年8月7日（水）19:00～20:30

会場：大富士交流センター

第4回地区別懇談会の主な意見について

テーマ①：地域の現状と課題について

- ・ 主な意見として、自治会活動、高齢化、空き家・空き地にする意見があげられた。
- ・ 集合住宅や戸建住宅の建築が進み、人口は増えているものの、新たに転入してきた住民が自治体に加入しないといった問題や、長年生活している住民との交流を促す場を求める意見がみられた。
- ・ また、自治会活動に対するメリットを感じられず、区費を支払わなかったり、役員の輪番を嫌い脱会者が増えることで、さらに脱会者が増える悪循環に陥っていることなどがあげられた。
- ・ 住民は増えても、自治会活動への参加が増えず、子供会や老人会などの活動が滞ったり、解散するなどの実態もあげられた。
- ・ 一方、子供会の運営に対して、区の役員が直接関与せず、保護者を中心とした運営に委ねたところ、上手く運営されている地区がみられた。また、自治会活動の参考となるような成功事例集の整理を求める意見もみられた。
- ・ 外国人居住者が増えている中、言葉の壁から上手くコミュニケーションが進まず、高齢者とのトラブルが発生しているなどがあげられた。
- ・ 転入者が増えている地区がある一方、住民の高齢化が進む地区がみられた。
- ・ 近隣に商店がなく、公共交通も不便なため、免許返納後の移動手段がなく、買い物難民が増える懸念があげられた。また、移動販売車が巡回しているものの、品揃えが変わらず、利用が徐々に減っているなどの意見がみられた。
- ・ 一方、地区の高齢化に対して、見守り隊を結成し、定期的な巡回をおこなったり、保健委員が巡回するなどの取り組みをおこなっている地区がみられた。
- ・ 地区の高齢化の一因として、就職・進学等で転出したこども世代が戻ってこないことがあげられ、空き家・空き地が増え、獣害などの被害が生じているといった意見がみられた。空き家については、売却費よりも解体費の方が高く、解体の進まない一因となっていることなどがあげられた。
- ・ 今後の課題として、仮に定年が70歳まで延長された場合、地域活動に携わる住民のさらなる減少が見込まれるため、50～60代の住民を如何に自治会活動に参画させるかといったことがあげられた。

テーマ②：今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として想定されること

- ・ 人口減少や空き家の問題は、個別に考えるのではなく、全体で解決策を議論する必要があるという意見がみられた。
- ・ 自治会活動に対する無関心層が増えているが、若い世代は、地区内の縦のつながりだけでなく、横のつながりもないため、気軽に参加できるイベントを開催し、交流を促したり、こどもを参画させることがきっかけづくりにつな

がるといった意見がみられた。加えて、イベント開催による費用負担に関する意見もみられた。

- ・ また、自治会活動に参画することで役をやらされるといったマイナスイメージの払拭や自治会活動のメリットの訴求などの意見がみられた。

テーマ③：富士宮市のまちづくりに期待すること

【自然環境】

- ・ 間伐など山林の適切な管理ができていないところがみられる。雑木を植えて天然林に戻すなどの森林計画が求められる。また、道路に面した畑に杉や檜を植栽しているが、倒木や冬場の凍結など危険なため、道路から一定距離をおいて植栽するなどのルールづくりをお願いしたい。

【農林水産業】

- ・ 耕作放棄地は景観上好ましくないため、必要に応じて管理すべきではないか。スポーツ公園などとして有効活用されると良い。

【観光】

- ・ 紀元前からある古い神社など文化遺産を上手く活用できないか。

【労働・雇用】

- ・ 若い人が働く場所を確保してほしい。

【公共交通】

- ・ 生活利便性を確保するため、交通網の整備が求められる。

【生活道路】

- ・ 市役所へのアクセスが悪いため、富岳館高校と幹線道路（東高の南の道）の間の弓沢川を橋で繋げられないか。
- ・ 小泉地区は、富士市への通過交通が増えているため、道路整備を進めてほしい。
- ・ 道路の拡幅や歩道の整備など道路整備をしていただき交通の利便性を良くしてほしい。

【防犯】

- ・ 交番による巡回が少ないように感じるため、手厚くしてほしい。

【防災】

- ・ 土砂災害危険地域に指定されている区域があるが、被災状況によっては避難所が使えない恐れがある。安全確保に向け、入念な検討をしてほしい。

【住宅・住環境】

- ・ 市街化調整区域における分家住宅の規制を緩和するなど、人口流出抑制の取り組みをお願いしたい。
- ・ 市営住宅の維持管理をどのように進めていくか、明確にして欲しい。栗倉団地には年金暮らしの高齢者が多く、廃止されると行き場を失う恐れがある。

【コミュニティ活動】

- ・ 人と人のつながりができるようなコミュニケーションの場を作る必要がある。
- ・ 市から提供される紙の資料は相当な量になる。広報ふじのみやを含め、デジタル化できないか。
- ・ 役員の高齢化が進み、川の清掃など危険度が増しているため、改善が求められる。
- ・ 住民が自治会に加入する意義・メリットを明確にする必要がある。
- ・ 自治会の改革が必要である。女性役員が少ないので女性の起用を増やせないか。
- ・ 少子化で子供会の会員が集まらなくなっているため、子供会事業補助金の人数要件を緩和してほしい。
- ・ 青年会などのコミュニティ活動に対する補助をお願いしたい。

【地方創生】

- ・ 人口増加への対応を考えてほしい。若い人がどうすれば来てくれるか、また、子育て世代の負担軽減も考えてほしい。
- ・ 今後、人口が減少していく中、産業誘致や観光都市の取り組みを進め、移住者が増えるよう、政策を考えてほしい。空き家等も活用しながら、転入人口が増えるようにしてほしい。

【その他】

- ・ 計画について、「現状値」でどれだけ達成しているか明示してほしい。
- ・ 富士宮市が今後どこを目指していくのか。観光へ注力するのか、工業へ注力するのか、明確なビジョンが必要ではないか。

5 第5回地区別懇談会開催結果報告【大宮西・富丘地区】

【開催日時・会場】

日時：令和6年9月27日（金）19:00～20:30

会場：富士宮市役所 特大会議室

第5回地区別懇談会の主な意見について

テーマ①：地域の現状と課題について

- ・ 主な意見として、少子高齢化による影響、土地利用規制の見直し、道路整備、防災、自治会活動に関する意見があげられた。
- ・ 世帯数の減少にともなう地域活動の担い手不足への懸念とともに、区費の負担増などに関する意見があげられた。世帯数の減少に対して、区としての最低世帯規模を市がトップダウンで設定し、再編・維持を図っていく提案がされた。
- ・ 高齢化に伴い、草刈りや防災訓練など身体的負担を伴う地域活動への参加が難しくなっている状況が指摘された。
- ・ 市街化調整区域の見直しに関する意見があげられた。住宅開発や工場誘致を推進する上でも、市街化調整区域の見直しに対する期待がみられた。
- ・ 都市計画道路の未整備区間の整備推進に関する意見があげられた。地権者同意の得られている区間もあり、早期着手の要望があげられた。また、周遊道路など、インバウンドをはじめ増加する観光客の行動を踏まえた道路整備の必要性に関する意見があげられた。
- ・ 防災に関して、土砂災害警戒地域における避難所の見直しや他地域への移転に対する補助制度に関する意見があげられた。
- ・ 自治会活動に関して、子供会の運営に関する意見、役員のなり手の問題（輪番制、くじ引きによる任用）などがあげられた。また、スマートフォンで回覧版など区の情報を閲覧できる取組があげられた。

テーマ②：今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として想定されること

- ・ 建立 2500 年を迎えるといわれる富知神社の活用に関する意見があげられた。
- ・ 各所の湧水を活かしたまちづくりや小規模水力発電など、水資源の利活用に関する意見があげられた。
- ・ 来訪者の一層の受入に向け、景観条例の制定をはじめ、行政主導による積極的な取組に関する意見があげられた。
- ・ 災害時、迅速に支援体制を整えられるよう、災害名簿の作成に関する意見があげられた。また、家具の固定や耐震診断などに対する助成に関する意見があげられた。
- ・ 市街化調整区域における農地活用策として植物工場を誘致し、日本一の地域を目指す取組があげられた。
- ・ 空き家の処分に関して所有者の合意が必要となるため、病気や高齢化で処分ができなくなる前に、必要な対応について学ぶ場の提供などに関する意見があげられた。

テーマ③：富士宮市のまちづくりに期待すること

【地球環境】

- ・ 太陽光発電施設を運営する外資系企業が、日本の法律に反する振舞いをするところがあるため改善を促すなど注視してほしい。

【観光】

- ・ リニア開業を契機として、特急ふじかわを三島方面へ接続することを考えると良いのではないかな。
- ・ 湧水という水資源を活かし切れていないため、全国的に発信していくと良い。
- ・ 鶏卵やジビエなど、やきそば以外の食の発信が重要。
- ・ インバウンドが増加しているので、多言語対応が重要。PRを担える市職員も増やすこと必要である。
- ・ アウトドア市場の拡大に伴い、キャンプ場の規模が大きくなっている。富士山の景観を活かしたもので集客につながっていることから、今後も需要を取り込んでいくことが重要。
- ・ 集客施設を整備し、インバウンドなどの観光客を積極的に誘致してはどうか。中心部と朝霧地区の接続を良くし、もっと人の流れが形成され、活性化につながることを期待する。

【労働・雇用】

- ・ 働く場所を増やさなければ、人口は減る一方である。観光に予算をかけてもどの程度効果をあげているのかわからない。どのような産業に注力していくのか明確にしてほしい。
- ・ 製造業は自動化が進んでいる。アニメ産業やIT産業は需要が高まっており、人手不足と考えられるので、自然の湧水を活用したデータセンターを誘致すれば、雇用の場が確保されるのではないかな。プログラマーは事務所を構えずとも自宅で作業ができるので、そのような人材を対象とした優遇制度を整えれば、富士宮の経済はもっと発展すると思う。

【子育て】

- ・ 移住者を増やすため、こどもの学費等に関して補助を出してはどうか。

【スポーツ・レクリエーション】

- ・ 市内に野球場、400mトラックがなく、大きな大会を誘致できないため、スポーツ施設の充実が望まれる。

【市街地整備】

- ・ 富士宮市は面積が広く、水道やガス等のインフラの整備や維持管理にコストがかかる。できるだけ集約化し、コンパクトに生活するようにできると良い。

【幹線道路・交通網】

- ・ 丁字路で終わる道路などボトルネックとなっている箇所を解消する。移動利便性は相当向上するのではないかな。
- ・ 県道25号線(西町～芝川方面)の一部区間の整備を進めてほしい。市の西側の道路整備が遅れていると感じる。道路がもう少し拡幅されると利便性が増すのではないかな。

【生活道路】

- ・ 道路が本当に狭く、救急車や消防車すら通れない。側溝をなくして開放することに予算を使う等の取り組みが必要である。(

【景観】

- ・ 電線や電柱のない富士山のビューポイントをやきそばマップとあわせて情報発信することは有用だろう。
- ・ 世界遺産センターから富士山が見えないときに、来訪者に対してサービス(無料や割引をするなど)を提供することも考えるとよい。

【防災】

- ・ 今後、災害が多様化する中で、観光客へのリスク伝達も不可欠となる。富士山噴火警報が出た場合の適切

な情報伝達と行動誘引が必要である。

【公共交通】

- ・ 身延線西富士宮駅と沼久保駅間の距離が長いため、中間駅の新設を目指してはどうか。鉄道の利便性が増し、免許を返納した高齢者の鉄道利用も期待できる。

【住宅・住生活】

- ・ 住宅件数が増えないことが課題であり、市街化調整区域に住宅を建てられるようにするなど、移住者が増えるような仕組みづくりを実施してみてもどうか。
- ・ 農地転用による宅地利用について、地縁者だけではなく移住者にも適用できるようにしてはどうか。
- ・ 草木の手入れがされていない耕作放棄地の地主に対して、市より手入れをするよう勧告してほしい。
- ・ 高齢者が増えているため、高齢者住宅等の整備につながるような計画を立ててほしい。

【コミュニティ活動】

- ・ Wi-Fi 環境が公共施設から無くなっているため、公民館で利用できるとよい。バス停などでもネット接続できる環境があると利便性が高まる。
- ・ 回覧板を電子回覧板にすることで区長の負担が抑えられる。郵便代や印刷費のほか配布する人的コストも削減できる。

【地方創生】

- ・ 農業等で移住してもらえるような施策を展開してほしい。高齢化が進み空き地の運用に係る担い手が不足している。まずは移住してもらえるような環境を整える必要がある。

【行財政運営】

- ・ 箱物整備については慎重な検討が必要である。維持管理にも莫大なコストがかかるので、負の遺産とならないようにしてほしい。

【その他】

- ・ 配布資料にある人口減少の原因を分析し、どのようにカーブを緩やかにすることを考えるとよい。
- ・ 配布資料は、マイナス思考である。アンケートも同様である。市のポジティブな思いや将来像を資料やアンケートで示すと良い。
- ・ 長泉町など人口が増えているまちとの比較分析を行い、できることはチャレンジしていくことが重要だろう。
- ・ 総合計画の概要版をみると、総花的で抽象的なため、具体的な表現にして欲しい。
- ・ 10 年後、富士宮市がどのような姿になりたいのか、記載してほしい。
- ・ 総合計画の一番の柱は富士山ではなく、人口減少と子育てとする必要があるのではないか。



総合計画市民ワークショップを開催しました

第1回

7/27(土)

開催概要

第6次富士宮市総合計画の策定に向けて、市民の立場から将来の富士宮市のまちづくりのあり方について考え、話し合っていたただく総合計画ワークショップを開催しました。

日 時 2024年7月27日(土)
会 場 富士宮市役所7階
参加者数 25人

テーマ

若い世代の将来の希望を叶える

中学生会議・高校生会議では、参加者である生徒が考える「富士宮市での理想の暮らし」を提案してもらいました。

その提案を実現する上で、課題とすること、必要な取組（行政がやること、市民・企業がやること）を個人ワークとグループワークで考えました。



上記は中学生会議の様子（2024年6月1日）



グループワークの成果

中学生会議・高校生会議での
理想の暮らし

自分たちが食べるものは
自分たちで作り、人と分け合う

全世代がすみやすいまち

観光客が市民になるまち

自然と活気×未知～市民と
観光客に新しい出会いを～

市民ワークショップでの主な成果

作物を共有する取組みをいかに続けていくかがポイント。SNSや閲覧ツールが活用しやすいかもしれない。

まずは市民が稼げるようにすることが大切で、そのうえで交通手段の利用を起点とした市内での経済循環を図ることも重要では。

観光施設の立地が分かれていることが問題で、それぞれをつなげるものが必要。

バスやタクシーの充実、土日の道路混雑に対しては直接朝霧エリアへアクセスできるように高速道路整備を。

感想

- （富士宮市を）まだまだ建て直せるのではないかと思います。
- 市民の意見を伝える場があるのは良いので是非意見を反映させてほしいです。
- あっという間の2.5hで楽しく参加できました。
- 年代がバラバラで話し合えて個性あふれる会でした。





総合計画市民ワークショップを開催しました

第3回
9/28(土)

開催概要

第6次富士宮市総合計画の策定に向けて、市民の立場から将来の富士宮市のまちづくりのあり方について考え、話し合っていたいただく総合計画ワークショップを開催しました。

日 時 2024年9月28日(土)
会 場 富士宮市役所7階
参加者数 45人



テーマ

富士宮市の魅力を再発見する

富士宮市で暮らす上での魅力（地域資源）を考え、その具体的な価値を皆さんと共有しました。

まずはモノ・コト・ヒト・トコロの4つの視点から、個人で富士宮市の魅力を考えました。個人で考えた富士宮市の魅力をグループで共有しながら、市民・全ての人・観光客×年配者・全世代・若者に分けて模造紙に整理しました。

次に共有した魅力の中から、各グループ3つずつ特に富士宮市らしいと思う魅力を選定し、様式にまとめました。

最後に、様式にまとめた富士宮市らしい魅力を発表し、最も共感できる魅力に赤シール、2番目・3番目に共感できる魅力に青シールを貼って投票しました。



グループワークの成果

特に富士宮市らしいと思う魅力を、各班3つずつ選定して様式にまとめました。詳細は裏面に掲載しています。

Aグループ

- ・富士山の恵み“水”
- ・宮の食べ比べ
- ・富士山の映えスポット

Bグループ

- ・生活の中のグルメ
- ・市民を包み込む富士山
- ・毎日ワーケーションができる都市

Cグループ

- ・市民も意外と知らないローカルスポット
- ・富士山の恵みがもたらすお酒
- ・富士山と培われた歴史

Dグループ

- ・自然体験、非日常
- ・ウォータービューテイ
- ・一歩一歩…。

Eグループ

- ・おいしいものはすべて富士宮産でそろ
- ・人のつながりがうみ出す多種多様なイベント・祭り
- ・外遊びするのびのびとした姿、子どもが育つ！子育てに適した富士宮

Fグループ

- ・ふじのみやプリンまつりを県内で有名なイベントにしたい！
- ・農産物（実は多くの人知らない富士宮の魅力）
- ・日本1のキャンプ場（自分調）

Gグループ

- ・富士宮の恵みを受けた食
- ・富士山に伴なう自然と歴史にはぐくまれる市
- ・富士山の麓で楽しめるアクティビティ

感想

- 富士宮市の魅力を改めて知れたので楽しくかったです。
- 他の方々の意見を聞いて、より富士宮市が好きになりました。



特に富士宮市らしいと思う魅力を各グループ3つずつ選定し、様式にタイトル・主な訴求対象・具体的な内容（うちく）まとめました。

富士宮市内外に広く知られているものから、富士宮市民にもあまり知られていないツウなものまで、様々な魅力を再発見することができました。

■Eグループ

[illegible]

■Fグループ

[illegible]

■Gグループ

富士宮らしい魅力	カラー G	カラー	富士宮らしい魅力	カラー G	カラー
タイトル	富士山の麓で食	富士山に降り、自然と歴史を歩く	タイトル	富士山の麓で食	富士山に降り、自然と歴史を歩く
主役店名	富士山麓の食	富士山麓の食	主役店名	富士山麓の食	富士山麓の食
具材のイメージ	富士山の麓で食	富士山の麓で食	具材のイメージ	富士山の麓で食	富士山の麓で食
富士宮らしい魅力	カラー G	カラー	富士宮らしい魅力	カラー G	カラー
タイトル	富士山の麓で食	富士山に降り、自然と歴史を歩く	タイトル	富士山の麓で食	富士山に降り、自然と歴史を歩く
主役店名	富士山麓の食	富士山麓の食	主役店名	富士山麓の食	富士山麓の食
具材のイメージ	富士山の麓で食	富士山の麓で食	具材のイメージ	富士山の麓で食	富士山の麓で食
富士宮らしい魅力	カラー G	カラー	富士宮らしい魅力	カラー G	カラー
タイトル	富士山の麓で食	富士山に降り、自然と歴史を歩く	タイトル	富士山の麓で食	富士山に降り、自然と歴史を歩く
主役店名	富士山麓の食	富士山麓の食	主役店名	富士山麓の食	富士山麓の食
具材のイメージ	富士山の麓で食	富士山の麓で食	具材のイメージ	富士山の麓で食	富士山の麓で食





総合計画市民ワークショップを開催しました

第4回

10/26(土)

開催概要

第6次富士宮市総合計画の策定に向けて、市民の立場から将来の富士宮市のまちづくりのあり方について考え、話し合ってください。総合計画市民ワークショップを開催しました。

日 時 2024年10月26日(土)
会 場 富士宮市役所7階
参加者数 34人



テーマ

富士宮市らしい新たな幸せな暮らしを考える

グループごとに富士宮市の魅力的な地域資源を選択し、富士宮市固有の地域資源を活かしたまちづくりの方策とそれをもたらす効果を考えました。方策を考える際には、富士宮市の活性化に繋がること、市民の暮らし満足度が高まること、まちに対する誇り・愛着が深まること、人口減少のペースが遅くなる(軽減すること)等の視点を意識しました。

初めに個人で地域資源の活用方法と活用効果と考えた後、個人で考えた内容をグループで共有しながら、活用方法と活用効果を模造紙に整理しました。

グループごとに整理した内容を全体に向けて発表した後、自分のグループとは違う地域資源を考えたグループに移動し、提案内容について対話を行いました。



グループワークの成果

富士宮市固有の地域資源を活かしたまちづくりの方策とそれをもたらす効果を考え、各班で様式にまとめました。詳細は裏面に掲載しています。

Aグループ 市民の楽しみ

- ・散歩コースのマップ作り
- ・富士宮市の年間イベントカレンダー作り
- ・アプリの活用

Bグループ 映えスポット

- ・富士宮市のYouTubeアカウントによる市外向けコンテンツの発信
- ・観光スポットの開発
- ・観光マップの作成
- ・インフルエンサーによる情報発信

Cグループ 富士山の恵みである水

- ・流水
- ・湧水を活用する施設の整備
- ・加工品(お酒・ニジマス)を購入できる場所の整備

Dグループ 富士山に培われた歴史

- ・遊びのツアー、学びツアー(歴史・金山)
- ・町外からもまともに参加できるようにする
- ・観光マップの作成
- ・インフルエンサーによる情報発信

Eグループ 子どもが育つ環境

- ・治安の良さ、豊かな自然、医療費無償化を活かす
- ・日陰がある公園で大人と子供が遊べるようにする
- ・田舎文化と世代間交流を残して治安を維持する

Fグループ 自然体験・イベント

- ・市民も観光客も気軽にサイクリングできるようにする
- ・豊かな自然を活かし、住宅地ではできないことをできるようにする
- ・手軽に参加できるイベントを用意する

※選んだ地域資源をオレンジ色、各グループで出た意見を黒字で示しています。

感想

- 回を追うごとに課題解決のための方法が出て来て勉強になります。
- 他のグループとの交流があり、違った考え方やとらえ方を聞くことができた。



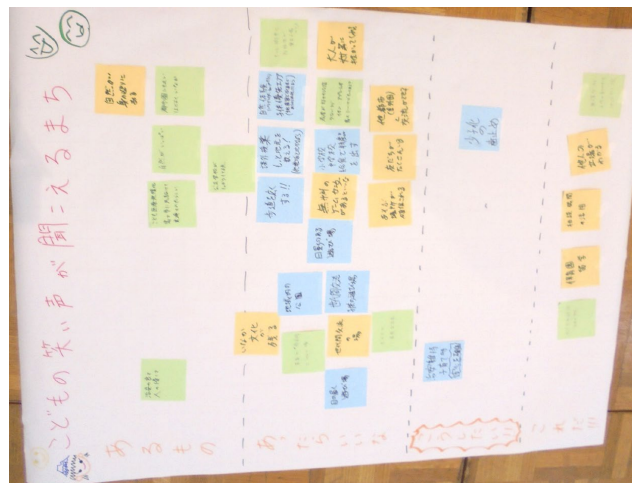
富士宮市が持っている様々な魅力（地域資源）を活用して取り組むことのできる方策を各グループで整理しました。また、それらの方策に取組むことによってもたらされる効果をまとめました。

富士宮市が持っている魅力を最大限に活用しながら、どうすれば市民や来宮者（富士宮に来る人）にとってより良いものとなるか、参加者同士で議論することができました。

■Cグループ 富士山の恵みである水



■Fグループ 自然体験・イベント





総合計画市民ワークショップを開催しました

第5回

11/30(土)

開催概要

第6次富士宮市総合計画の策定に向けて、市民の立場から将来の富士宮市のまちづくりのあり方について考え、話し合っていたいただく総合計画市民ワークショップを開催しました。

日 時 2024年11月30日(土)
会 場 富士宮市役所1階
参加者数 27人



テーマ

まちづくりのキャッチコピーを考える

第6次富士宮市総合計画の将来都市像（キャッチコピー）を市民目線で検討しました。富士宮らしく、未来の市民の暮らしがイメージでき、多くの市民がこうありたいと思えるような、理想の未来について、キャッチコピーを考えました。

初めに、これまでの市民ワークショップの内容を思い出ししながら、富士宮市のキャッチコピーに取り入れたいと思うキーワードを個人で考えました。会場の中から、キーワードが近い似た考えを持った人同士で組み、グループを組成しました。

グループワークでは、個人で考えたキーワードをブラッシュアップし、グループで一つのキャッチコピーを考えました。また、キャッチコピーを踏まえて、ひとりひとりが10年後に実現していきたい暮らし宣言をしました。



グループワークの成果

まちづくりに大切にしたいことや、いかすべき地域の魅力から、キャッチコピーをまとめました。詳細は裏面に掲載しています。

Aグループ
楽しく 幸せ 生涯 チャレンジ都市
 産業を興し人を呼び込み、自然と都市のいいことを両立していきたい

Bグループ
ダイヤモンドと水の恵みを あなたに 富士宮
 水の恵のプレゼントを市民全員が感じられる富士宮になってほしい

Cグループ
日本の暮らしは 【宮】 から始まる
 食・水・自然など、日本の原風景が詰まっている富士宮で、人らしい暮らしができるまちになってほしい

Dグループ
日本中に自慢したくなるまち (世界進出予定)
 「人づくり」「暮らしやすさ」「楽しみ」を大切に、日本中に自慢したくなるまちにしたい

Eグループ
いなかライフ 時々 都会感 ～わたしと自然と子育て～
 自然にも都会にも近い富士宮で、子育ても自分の人生も楽しめる暮らしを実現したい

感想

- 富士宮市のことをもっと宣伝していきたい！
- 富士宮好きな人がたくさんいた。そのような人が集まる機会が増えるといいな。
- とても貴重な機会でした。大学卒業したら、宮帰ります！！



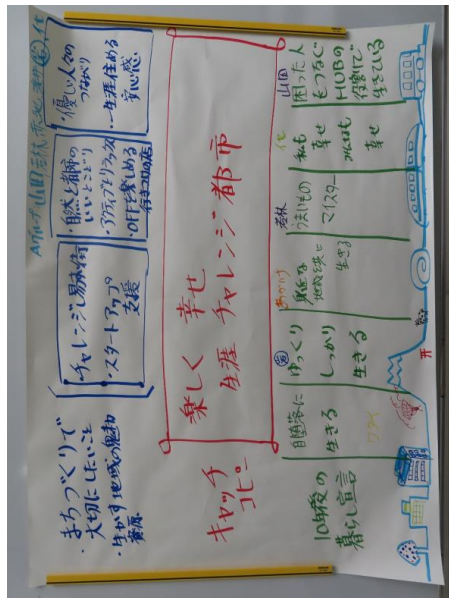


富士宮らしく、未来の市民の暮らしがイメージでき、多くの市民がこうありたいと思うような、理想の未来について、まちづくりのキャッチコピーを市民目線で考えました。
最終回ということもあり、これまでの市民ワークショップの内容を踏まえ、素敵なキャッチコピーを作ることができました。

総合計画市民ワークショップを開催しました

■Aグループ

楽しく 幸せ 生涯 チャレンジ都市



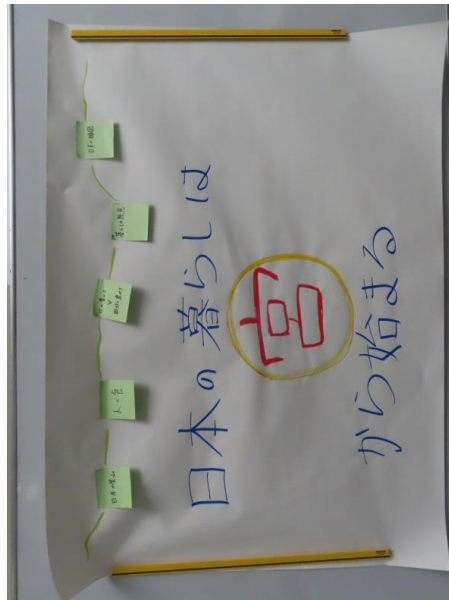
■Bグループ

ダイヤモンドと水の恵みをあなたに 富士宮



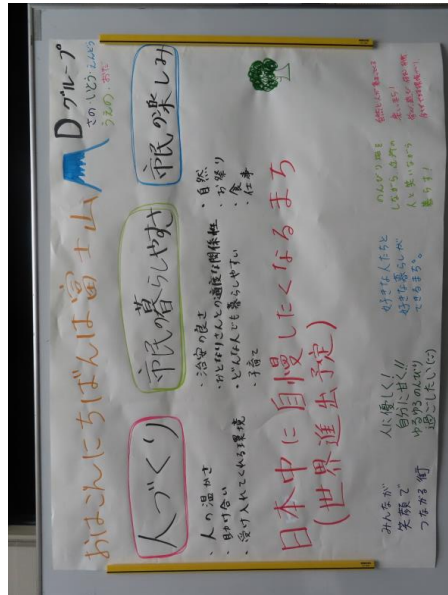
■Cグループ

日本の暮らしは【宮】から始まる



■Dグループ

日本中に自慢したくなるまち（世界進出予定）



■Fグループ

いなかライフ 時々 都会感～わたしと自然と子育て～





総合計画市民ワークショップを開催しました

第6回

5/31(土)

開催概要

第6次富士宮市総合計画の策定に向けて、市民の立場から将来の富士宮市のまちづくりのあり方について考え、話し合っていたいただく総合計画市民ワークショップを開催しました。

日 時 2025年5月31日(土)
会 場 富士宮市役所7階
参加者数 18人

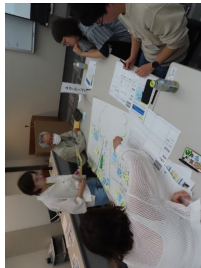


テーマ

富士宮市の重点的な取組を考える

第6次富士宮市総合計画の基本方針をテーマに、必要な取組や取組の実施者、取組むうえで大切にすべきことや配慮すべきことについて市民目線で検討しました。

初めに、関心のあるテーマごとにグループに分かれ、市が実施すべき取組（黄色付箋）と市民が実施すべき取組（青色付箋）を個人で書き出し、グループ内で共有しました。後半は別のグループへ移動し、グループワークを行いました。グループワークでは、必要な取組についてブラッシュアップを行い、1グループにつき2～6つ程度に絞った重点取組とその内容を全体へ共有しました。



グループワークの成果

グループごとに設定されたテーマ（基本方針）に沿って、その実現のために必要な取組をまとめました。詳細は裏面に掲載しています。

Aグループ テーマ：地域の魅力を活かしたにぎわいづくり

- ・見える化・一本化（観光情報）
- ・交通、インフラ

Bグループ テーマ：若者や女性にも選ばれる地域づくり

- ・市内企業を学生向けにPRする
- ・市のHPに誰でも投稿できるスペースを！
- ・市民のページと市外のページを用意
- ・安心して預けられる場所をつくる、企業内に保育園を
- ・イオンを子育て支援センター化
- ・空き地、空き家の活用/移住、転入しやすい環境づくり（伴走支援）

Cグループ テーマ：安心して健やかに暮らせる幸せづくり

- ・ゆりかご前から墓場前までの医療・福祉充実
- ・ハザードマップの策定・更新・周知・広報
- ・災害時ライフライン水について（井戸の位置・採掘/飲用湧水マップ）
- ・健康である事が一番/スポーツを通して幸せづくり、健康づくり

Dグループ テーマ：明るい未来を支える人づくり

- ・農業シェアリング
- ・富士宮市内で行う～教育留学～
- ・小中学校選択制
- ・富士宮で”手に職” プログラム
- ・休日（週末）市民制度
- ・富士宮市在住の専属インフルエンサー

感想

- ・とても前向きで関心ある意見が出て良い。今後とも同様の意見交換、意見創出の場があると良い→私がつくろうと思います。
- ・これが実現したら面白いなと思うワークショップでした。でも面白いで終わらずに、実現に向けて市も、市民も企業も実践に動けるといいなと思うのと、自分でも動けたらいいなと思いました。
- ・いろいろな立場の人が話をする流れがとてもおもしろかったです。関心のある事がそれぞれ違うので、とても参考になりました。



Newsletter

総合計画市民ワークショップを開催しました

■Aグループ

地域の魅力を活かしたにぎわいづくり

基本方針	1地域の魅力を活かしたにぎわいづくり	グループ A
必要な取組	交通・インフラ	
実施者	国・県市・企業	
大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	

■Bグループ

若者や女性にも選ばれる地域づくり

基本方針	2若者や女性にも選ばれる地域づくり	グループ B
必要な取組	市内企業を若者(高卒)向けに働きやすい環境を整える	
実施者	市内企業	
大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	

基本方針	2若者や女性にも選ばれる地域づくり	グループ B
必要な取組	空き地・空き家・空き店舗の活用	
実施者	市・企業	
大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	



■Cグループ

安心して健やかに暮らせる幸せづくり

基本方針	3安心して健やかに暮らせる幸せづくり	グループ C
必要な取組	高齢者・障害者・子育て世代の支援	
実施者	市・企業	
大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	

基本方針	3安心して健やかに暮らせる幸せづくり	グループ C
必要な取組	健康・医療・福祉の連携	
実施者	市・企業	
大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	

■Dグループ

明るい未来を支える人づくり

基本方針	4明るい未来を支える人づくり	グループ D
必要な取組	農業・漁業・林業の振興	
実施者	市・企業・市民	
大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	

基本方針	4明るい未来を支える人づくり	グループ D
必要な取組	子育て支援・教育・職業訓練	
実施者	市・企業・市民	
大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	

第6次富士宮市総合計画の4つの基本方針をテーマとして、必要な取組/実施者/大切にすべきこと・配慮すべきことを検討し、様式にまとめました。
富士宮市（行政）が取組むべきと思われるものから富士宮市民が取組むべきと思われるものまで、具体的な取組を考えることができました。

■Eグループ

安心して健やかに暮らせる幸せづくり

基本方針	3安心して健やかに暮らせる幸せづくり	グループ C
必要な取組	高齢者・障害者・子育て世代の支援	
実施者	市・企業	
大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	



■Fグループ

明るい未来を支える人づくり

基本方針	4明るい未来を支える人づくり	グループ D
必要な取組	農業・漁業・林業の振興	
実施者	市・企業・市民	
大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	

基本方針	4明るい未来を支える人づくり	グループ D
必要な取組	子育て支援・教育・職業訓練	
実施者	市・企業・市民	
大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	大別するべきこと・取組すべきこと・取組すべきこと	

中学生会議を開催しました

開催概要

市内の中学校に通う28名の中学生に参加いただき、中学生会議を行いました。中学生会議は、次世代を担う若い世代が考える富士宮市の将来について話し合っていたいただき、第6次富士宮市総合計画策定の検討に活用するために開催しました。

- ◆ 日 時 : 2024年6月1日(土) 9:00~12:00
- ◆ 会 場 : 富士宮市役所7階
- ◆ 参加者数 : 28名

当日のプログラム

- テーマ

富士宮市で実現したい理想の暮らしから考える富士宮市の将来像

- ◆ 開会・あいさつ : 中学生会議の趣旨を説明しました
- ◆ ガイダンス : プログラム・本日の目標(ゴール)の説明をしました
- ◆ アイスブレイク : 自己紹介をし、グループにどんな人があるか確認しました
- ◆ 個人ワーク : 「富士宮市で実現したい理想の暮らし」を考えました
- ◆ グループワーク : 7グループに分かれ富士宮市の将来像(キャッチフレーズ)を考えました
- ◆ 発表 : グループワークの内容を発表しました
- ◆ 閉会 : 共感できるキャッチフレーズに投票をし、写真撮影をしました



グループワークの成果

観光客が市民になるまち

富士宮市が通過型観光地から宿泊型観光地に変わり、さらに観光客が市民になれるようなまちを作ることが大切だと思う。

どの世代でも安心してくらせるまち
地域の行事やボランティア活動に参加して、地域の人との関係を深め、富士宮市が活性化してほしい。



地元住民が笑顔で暮らせるまち

市民が交流し、楽しく遊び、体を動かし、リラックスでき、自然に囲まれたきれいなまちで暮らしたい



自然と活気×未知～市民と観光客に新しい出会いを～

富士宮市民にとっては当たり前の存在となっている富士山や自然は、観光客にとっては素晴らしいものであるため活かし、さらに富士宮市には不足している時代の最先端の「未知」が揃うと良い。

住んでる人から観光に来る人までが満足できるまち

市民が家族と遊べる場所や勉強できる場所、運動ができる場所が増えて楽しく暮らしたい。特産品や宿泊施設を充実させて、観光客がたくさん来てにぎやかになってほしい。



全世代が住みやすいまち

交通の便が良くなれば、住みやすくなり、観光客も行き交いやすくなり、働く場所も増えると思う。
人口増加のために観光が重要。



若者が充実して

暮らしやすいまち
富士宮をもっとPRして有名にして、若者が充実して暮らせるまちにしたい。

感想

短い時間でしたが充実した意見交換ができ、参加者の皆様からは、満足度の高い感想をいただきました。

- ◆ 富士宮市の将来について深く考えることができ良い経験になりました。
- ◆ 今日出た意見が実現できればいいな。
- ◆ 他校の人との交流ができて楽しかった！
- ◆ 3時間があったという間でした。
- ◆ 大人になっても富士宮市に住みたいです。
- ◆ 今ないこと、他の市が思いつかないようなことを実践していいまちを目指したい。



高校生会議を開催しました

開催概要

市内の高校に通う24名の高校生に参加いただき、高校生会議を行いました。高校生会議は、次世代を担う若い世代が考える富士宮市での理想の暮らしと、市との理想の関わり方について話し合っていたいただき、第6次富士宮市総合計画策定の検討に活用するために開催しました。

- ◆ 日 時：2024年6月22日（土）
9:00～12:00
- ◆ 会 場：富士宮市役所7階
- ◆ 参加者数：24名

当日のプログラム

- テーマ
- ◆ 富士宮市での理想の暮らし／富士宮市との理想の関わり方
- ◆ 開会・あいさつ：高校生会議の趣旨を説明しました
- ◆ ガイダンス：プログラム・本日の目標（ゴール）の説明をしました
- ◆ アイスブレイク：自己紹介をし、グループにどんな人があるか確認しました
- ◆ グループワーク：富士宮市の高校に通う18歳の〇〇は、10年後どのような人になっているかを、ベルソナを設定し考えました
- ◆ グループワーク：ベルソナの詳細を考えながら、「富士宮市での理想の暮らし」と「富士宮市との理想の関わり方」を考えました
- ◆ 発表：グループワークの内容を発表しました
- ◆ 閉会：共感できるキャッチフレーズに投票をし、写真撮影をしました



グループワークの成果

家族中心の生活で、キャンプや釣り、お祭り、買い物を楽しむ

まかいの牧場、富士ミルクランドや朝霧高原で、自然と触れ合うことが理想。

自分たちが食べるものは自分たちで作り、人と分け合う

富士宮は農業が盛ん！自分で出来る範囲で作物を育て、それを近所の人たちと分け合えば豊かだし、食品も無駄にならない。

富士宮市にあたらしいと思うもの



スポーツ場や体を動かせる場等の遊び場や、利便性の高い交通、ワークライフバランスが保てる就職先、気軽に自然と触れ合える環境があったら、富士宮市に帰ってきたくなる！



県外では見ることが出来ない富士山の魅力をより多くの人に伝えたい！

富士宮観光ツアーを企画し、富士山の魅力を紹介する。世界で多くの人が使っているInstagramを市でもっと活用する。

富士宮駅周辺で子ども達と休日一日を過ごす

お宮横丁で富士宮やきそばを食べて地元グルメを買い、浅間大社で流鏑馬まつりを楽しみ、近くのジョビングモールで買い物と休憩をしたい。



家族みんなでゆっくりする時間を作る

休日にキャンプに行き、子どもとまかいの牧場で遊ぶ。初日の出を富士山が見える場所から見て、初詣は浅間大社へ行きたい。



農業に励むことのできる住みよい暮らし

富士宮の魅力は富士山・自然・落花生なます！交通の利便性向上と、家から近い学校があることも理想。

感想

短い時間でしたが充実した意見交換ができ、参加者の皆様からは、満足度の高い感想をいただきました。

- ◆ 他校の方との貴重な交流の機会となり、とても楽しかった。
- ◆ 意見も出しやすく、積極的に取り組むことが出来る最高のグループ活動でとても楽しかったです。
- ◆ 富士宮の長所と課題点を自分の中でまとめることができたので、とても有意義な時間だった。
- ◆ 市民まちづくり会議への参加を希望するが、そこではより政策目標的な具体策をつくりたい。



Ⅳ 団体活動に関するアンケート調査

1 調査概要

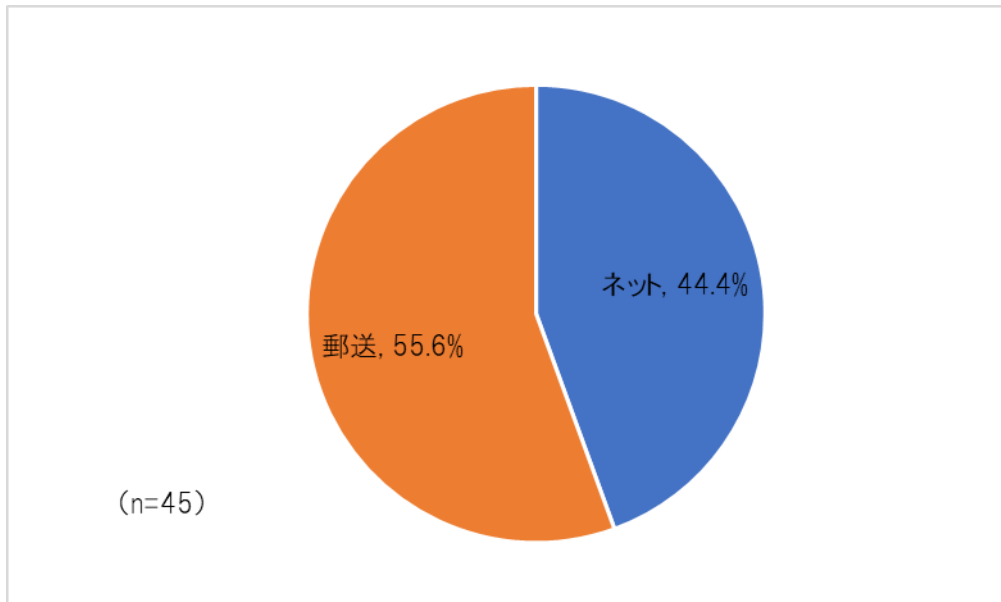
調査目的	市内の関連団体の考えについて把握する
調査対象	市内の関連団体 85 者
調査方法	調査票を郵送にて配布し、郵送又はオンラインにより回収
実施時期	令和 6 年 8 月 26 日(発送日)から 9 月 30 日
発送数	85 件
回収数	45 件(うちオンライン回答 20 件)
回収率	52.9%(小数点第2位四捨五入)
調査票	A4 版 2 ページ、全 8 問(枝問を除く)
調査項目	・ 活動分野 ・ 設置目的(設立の経緯)や存在意義、活動に際して大切にしていること ・ 具体的な活動内容 ・ 「活動分野」に関連する考え ・ 富士宮市の総合計画に対するご意見 ・ 10 年後の目標や希望 及び 近い将来新たに取り組みたい活動 ・ 「10 年後の目標や希望」に対する現状の課題
備考	・ 集計は無回答を除いた回答数を母数とした各選択肢の割合を算出している。 ・ 各設問に示した()内の表記について、SA は単一回答の設問、MA は複数回答の設問であることを示す。 ・ グラフ下もしくは右のnは回答者数を示す。

2 集計結果（抜粋）

回答種別

「ネット回答」が 44.4%、「郵送回答」が 55.6%であり、「郵送回答」が多い。

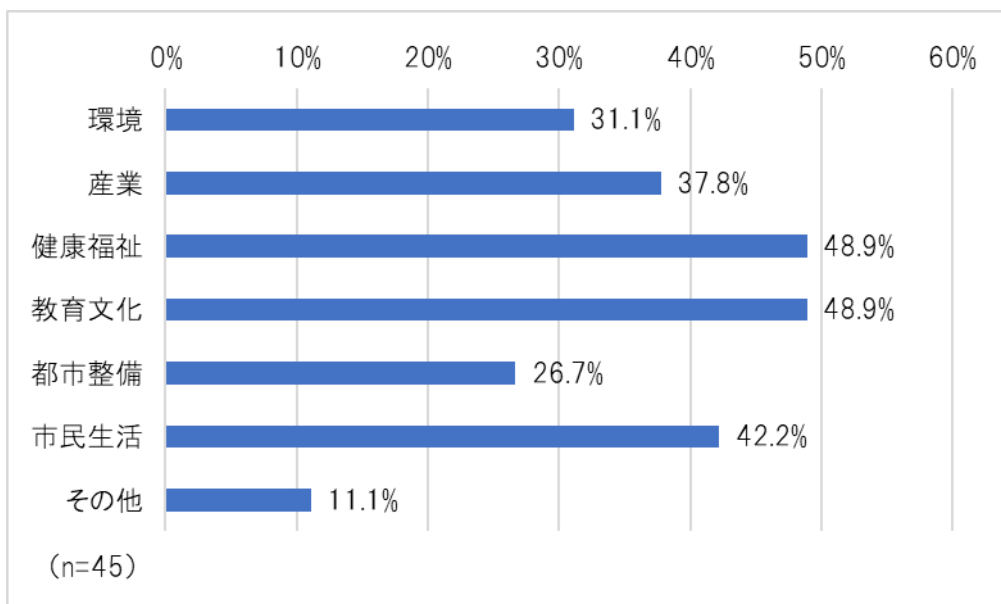
グラフ



活動分野（MA）

「健康福祉」「教育文化」が 48.9%と多く、次いで「市民生活」が 42.2%と続いている。

グラフ



「活動分野」に関連する考え（FA）

- ①富士宮市が目指すべき将来像
- ②富士宮市の取り組みとして期待すること
- ③富士宮市と協力して取り組んでみたいこと

1. 環境

団体名	内容
富士宮西ロータリークラブ	① 富士山の水資源を活用し、商工業、観光に活かし水のある都市整備を行い、スポーツを通じた青少年の育成と、子育て世代が住みやすい街作り。
	② -
	③ -
富士宮中央ライオンズクラブ	① 大規模、小規模の環境保全活動を市民参加型での企画、実行を行い、災害等にも考慮したものがある町
	② 市民参加型の環境保全と、災害対策
	③ 公園整備等
公益財団法人富士宮市振興公社	① 市民に優しい環境が整ったまち
	② 市営墓地の整備
	③ 霊園の健全で永続的な管理運営
潤井川リバーフレンド	① 人の目につく所だけでなく、どこでもゴミのない本来の清流
	② 啓発活動（市民に問題意識を理解させる手法を研究する）
	③ 従来の取り組みの継続
富士宮市地域女性連絡会	① ゴミ減量化とペットボトルの回収
	② 白糸自然公園を若い人の集まる場所。例えば、富士山に見える景色の中で花に囲まれて幸せの鐘を鳴らすと願いがかなうとか結婚式もオープンにできるとか。そして白糸の滝へ誘導。
	③ -
富士山の自然を守る会	① 富士山を柱に据えた街づくり
	② 富士山及び山麓の生態系をはじめとする環境保全に力を注いでほしい。とりわけ地下水・湧き水の保護・保全に注意してほしい。
	③ 富士山の自然を次世代に引き継ぐため、青少年を中心としたフィールドワークを市と協力できるようにしたい。
表富士宮口登山組合	① 富士山憲章・富士山カントリーコードを常に意識した環境教育
	② 富士登山にふさわしい富士山の麓、富士宮のまち創り
	③ 国や県、富士宮市及び各種団体と連携し、富士山の環境を維持できる取り組みを継続していきたい

2. 産業

団体名	内容
富士開拓農業協同組合	① 国内有数の生乳生産地として富士山を構成する朝霧高原で環境に調和し持続的に発展していく。
	② 継続して酪農経営ができる経営環境や後継者確保、家畜排せつ物の適正処理や流通への支援
	③ 酪農家が安定して経営が行える支援
富士宮西ロータリークラブ	① 富士山の水資源を活用し、商工業、観光に活かし水のある都市整備を行い、スポーツを通じた青少年の育成と、子育て世代が住みやすい街作り。
	② -
	③ -
芝川商工会	① 産業振興→新たな事業が生まれ、育ち、発展していける市
	② 芝川地域は全体が市街化調整区域となっています。市街化調整区域は市街化を抑制すべき地域であり、基本的な産業発展は見込めない地域であると理解しています。しかし、今後も居住し、あるいは事業を承継しながら続けていく人がある中で、地域の特性を生かした産業振興策を実施していく必要があると考えます。例えば次世代農業への取り組み、観光資源を生かした集客、空き家や空き店舗の活用などができるような施策の充実と、事業活動に関する規制緩和に向けた働きかけを期待しています。
	③ 当会は地域の総合経済団体として、経営改善普及事業と地域総合振興事業を着実に進めていきますが、当地域の中長期的な視点において、上記に記載したとおり、市街化調整区域という枠組みの中であっても、地域の特性をいかした取り組みに対する支援（農業支援、移住支援、空き家・空き店舗活用支援、観光支援、地区計画策定支援等）を実施していきたいと思います。また当会は芝川地域を主な活動エリアとする地域経済団体ではありますが、富士宮市に所在する団体として、富士宮市全体の産業振興についても考える必要があると認識しています。現在、富士宮市全域の産業振興においては、主に「ビジネスコネクつじのみや」の活動を通じて実施していますが、引き続き、この活動の一員として市全体の産業振興に寄与していきたいと考えています。
富士宮市学校給食を考える会	① 学校給食食材の地産地消の割合を増やして地元の農林水産業界を守り発展させる。
	② 地産地消のオーガニック学校給食を目指す。食農教育の推進充実。
	③ 地産地消のオーガニック給食を目指す。食農教育の推進充実。
JA ふじ伊豆 富士宮有機栽培茶研究会	① より多くの農家が安心して農業に取り組めるよう
	② 安心して農業に取り組める環境
	③ 小学校、中学校の生徒とともに協力して、次世代にも茶業を知ってもらう
富士伊豆農業協同組合	① 地域農業の発展と住みよい街づくり
	② 耕作放棄地・資材高騰対策
	③ 地域文化への貢献と農業振興
富士宮フードバレー推進協議会	① 食の豊富な資源を生かした産業振興
	② 販路拡大、6次産業化、観光との連携、食のネットワーク化
	③ -

(公社)富士宮市 観光協会	① 観光施設周遊のための公共交通の整備
	② 観光関係団体との連携の中心的な役割を担ってほしい
	③ 観光施設周遊のための公共交通事業者との連携
富士宮市地域女 性連絡会	① 市のまつり参加
	② -
	③ -
表富士宮口登山 組合	① 富士登山を安全に行う公共交通、宿泊施設の整備
	② 富士登山にふさわしい富士山の麓、富士宮のまち創り
	③ 国や県、富士宮市及び各種団体と連携し、富士山の環境を維持できる取り組みを継続していきたい
富士宮市母親ク ラブ連絡協議会	① 今、寿命は100年時代。体によいものを子供の時から食する。地元産を大切に時期のものを食べる。
	② -
	③ -
富士宮ロータリー クラブ	① 農林水産業、商工業、観光などの充実を図り、富士宮市を裕福にする。
	② -
	③ -
田貫湖まつり実 行委員会	① 富士山の麓である富士宮市全体の活性化を目指す
	② 市内のみならず、市外・県外の方にも PR して盛り上げていただきたい。(冬の花火大会)
	③ PR は市外・県外にもして頂き、食や音楽などは市内で活動している方をお願いし、そちらも PR できたらと思っている。
田貫湖キャンプ 場運営委員会	① コロナ禍の3年間でキャンプブームがきているが、今後キャンプブームが終わることもある。そのため、維持可能な北部の観光振興を考えていきたい。
	② 全国一のキャンプ場のメッカを目指し、PRしてほしい。
	③ 田貫湖キャンプ場の水源確保(具体的には井戸を掘ってほしい)

3. 健康福祉

団体名	内容
保 健 委 員 協 議 会	① 住み慣れた地域で安心して暮らす
	② 業務が縦割りで窓口が別々で、不便を感じる時があります。地域は大人も子どもも共に支え合う居場所作りを目指しているため、一体的に対応してもらえると嬉しいです。
	③ 誰でも気軽に、楽しみながら参加できる笑顔になるイベント
特 定 非 営 利 活 動 法 人 富 士 宮 市 手 を つ な ぐ 育 成 会	① 誰もが分け隔てなく幸せに暮らせる富士宮市
	② 障害の分野においても 8050 問題が大きくなっています。地域で安心して暮らせるような仕組みを早急に構築して頂きたい。そのためには相談支援事業の業務の充実を期待いたします。
	③ 障がい児・者の相談支援事業所の開所 福祉分野の充実のために障害者の働く場の拡充

富士宮西ロータリークラブ	① 富士山の水資源を活用し、商工業、観光に活かし水のある都市整備を行い、スポーツを通じた青少年の育成と、子育て世代が住みやすい街作り。
	② 都市整備、インフラも大切だと思うが、人口の減少を抑え、子育て世代の支援を充実させて他所からの移住などで人口の増加を考えて欲しい。
	③ -
富丘こども園(富士宮市民間保育園園長会)	① 子どもからお年寄りまで、それぞれが助成を受け、大切にされ、明るく元気に過ごせる町
	② -
	③ 保育教諭の起震車体験
精神保健福祉ぬくもりの会	① 障がいがあっても普通に暮らせる街。障がい者に優しく過ごしやすい街。
	② 入院してしまった人に、医療費の手厚い補助
	③ 精神障がい者家族の為の講座
一般社団法人富士宮市歯科医師会	① 病気に負けない健康体で日々を楽しむ健康長寿社会の実現
	② 近年、歯科医が果たす健康増進、健康長寿への役割は重要であることが示されています。高齢化社会にある市民の口腔健康管理の必要性が高まっています。この点に関し富士宮市は特に際立って進捗してはいないと思われるので地域包括ケアの概念のなかで、積極的、実践的な計画を立て富士宮市の実情に配慮した独自の方策を検討すべき。
	③ 口腔健康管理、災害防災対策
富士宮中央ライオンズクラブ	① 篤志の行いを意識でき、行動できるように、市民が知識を持てるような街
	② 献血、献眼、ヘアードネーション等の推進活動
	③ 誰でも人を助けることができることを啓発する活動
一般社団法人富士宮市医師会	① 市民が健康で安心して暮らせるまち
	② 市内の基幹病院としての「富士宮市立病院」の機能及び二次救急医療のさらなる進展
	③ ・富士宮市が実施する保健事業への協力の継続 ・富士宮市立病院と会員医療機関との連携(病診連携)の充実
NPO 法人母力向上委員会	① 今の中学生が子どもを産み育てたいと思える街
	② ・新卒保育士の家賃補助、経験で賃金上乘せ ・第2子以降保育料無償化 ・多産家族への補助金 ・子育て紙おむつ購入助成 ・公共施設こども入場無料 ・産後ケア無料 ・イオンに支援センターを設置 ・産後ケア受けたい人が受けられる枠の拡充 ・保育園は週2, 3も選択できる ・入りたい保育園にできるだけ入れる枠を ・一時預かりの拡充 ・未来の子育て世代が子育てが楽しそうと思える交流、教育 ・児童館を母力が運営 ・子育て情報の統一 ・パパ育休を増やす ・働き方の選択の自由化 ・医療ケア児の子育ても楽になるような施策「子育てするなら富士宮」くらいのブランディングの街に ・今の中学生が子どもを産み育てたいと思える街になるような施策
	③ ・イオン富士宮に支援センターを設置し当団体が運営する ・児童館を母力が運営する ・子育て情報を統一する施策 ・産後ケアのニーズに応えられる仕組み作り ・地域みんなで子育てに取り組む意識の醸成授業 co 育てアシストプログラムの拡大 ・子育てを応援する子育て世代以外の人の見える化 ・子育て LINE 相談窓口の新設・対応
富士宮市学校給食を考える会	① 学校給食費の無償化を実現して親の負担を減らす。地産地消のオーガニック給食。
	② 地産地消のオーガニック学校給食を目指す。学校給食費の無償化。食農教育の推進

	充実。 ③ 地産地消のオーガニック給食を目指す。学校給食費の無償化。食農教育の推進充実。
公益社団法人 富士宮シルバー 人材センター	① 高齢者が元気に生きがいをもって暮らせるまち ② 高齢者の健康づくり、生きがいづくりに資する取り組み ③ 高齢独居世帯などで生活支援が必要な高齢者が増加していることにかんがみ、元気な高齢者が支援が必要な高齢者を支援していく取り組み
富士宮フードバ ー推進協議会	① 食の環境の調和による安全・安心な食生活 ② 減農薬の推進(食の安全性)、循環型システムの確立、食品ロス ③ -
ふじさんシニアク ラブ富士宮	① 高齢者に対して思いやりのある行政 ② 高齢者社会の中で健康長寿がいかに大切か、総合福祉課の皆様とコミュニケーションマネジメントを作成し、大切さを訴える ③ ふじさんシニアクラブ富士宮の会員増加で市の介護保険の全額削減。入会による健康長寿が得られることをピーアールすること
富士宮市地域 女性連絡会	① - ② - ③ 健康長寿を目指した取り組み。子育て中のお母さんとの交流。
ふじのみや女性 の会	① - ② 実現可能な施策の計画をたて、市民を巻き込んで実践していく ③ -
富士宮市文化 連絡協議会	① 文化活動で心身健康を高めている ② - ③ -
富士宮市母親ク ラブ連絡協議会	① 心健やかに、健康に長生きするのに必要。医療は大切。 ② 人が住むことを大切に。自然を残す。市民が憩える公園、水辺、食。老人が多くなるが、年齢で分かれるのではなく、いろいろな年齢が一緒に住む。 ③ 子育て支援は赤ちゃんが対象のようだが、児童館は今、18歳以上まで関わるので、幼・小・中・高などに関わりたい。
新日本婦人の会 富士宮支部	① - ② 高齢化が進む富士宮で、医療や介護にかかる費用の軽減 ③少子化対策・子育て支援の一助として学校給食の完全無償化の実施 ③ -

4. 教育文化

団体名	内容
富士宮市学校 警察連絡協議 会	① 健全な青少年の育成 ② - ③ -

(一社)富士宮 青年会議所	① スポーツのまち富士宮市として掲げているので青少年のスポーツへの参加促進
	② 色々な大会の主催や協賛
	③ わんぱく相撲をより大きな大会にしたいと思います。
富士宮ライオン ズクラブ	① 富士山世界文化遺産のある街にふさわしい景観づくり
	② ・伏流水を有効活用しきれいな状態を維持したままの水路(生活排水とのすみわけ) ・電線を地中に
	③ 全ての奉仕事業
富士宮西ロータ リークラブ	① 富士山の水資源を活用し、商工業、観光に活かし水のある都市整備を行い、スポーツを通した青少年の育成と、子育て世代が住みやすい街作り。
	② -
	③ 青少年の育成事業
富丘こども園(富 士宮市民間保 育園園長会)	① 市民が日本一の富士山がある町としての誇りを持ち、学力や体力を向上させ、芸術的な町づくり
	② 図書館の整備(こどもからお年寄りまで憩いの場所になるようにしてほしい) →石川県立図書館のような特徴ある施設や試み
	③ -
公益財団法人 富士宮市振興 公社	① 世代を問わず文化に触れやすいまち
	② 市民の利便性向上に関する DX の推進
	③ 文化及び芸術の啓発、振興の促進
富士宮市学校 給食を考える会	① 食農教育の推進充実。
	② 地産地消のオーガニック学校給食を目指す。学校給食費の無償化。食農教育の推進充実。
	③ 地産地消のオーガニック給食を目指す。学校給食費の無償化。食農教育の推進充実。
国際ソロプチミ スト富士宮	① 子供の読書の会へ寄付、高校会議所を支援した為、子供の教育の充実を希望します。市主導の高齢者、子供などの教養講座など希望
	② 人権を守る事を希望、貧困を救済してほしい(一人親世帯など)母子家庭等
	③ -
富士宮フードバ レ推進協議会	① 「地食健身」「食育」による健康づくり
	② 地場産品活用講座、ライフステージごとの生涯食育の推進
	③ -
富士宮子どもと 読書の会	① 働く母親が増え、またゲームやスマホの子どもの生活への浸透もあり、人と人との関わりが薄れている中で、”ゆっくり、じっくり、ていねいに”育つために絵本や本とのかかわりを大切に考える施策をお願いしたい。
	② -
	③ 社会教育課の「読書と読み聞かせ推進事業」をより充実させ、多くの市民の参加を期待したい。学校教育課との連携を望む。
富士宮市地域 女性連絡会	① 紙芝居を通して市の歴史、伝説文化を子どもから高齢者に伝承している
	② -
	③ -

ふじのみや女性の会	① -
	② 実現可能な施策の計画をたて、市民を巻き込んで実践していく
	③ -
富士宮市文化連絡協議会	① 文化、芸術が高い地域は安全・安心のことが多い
	② 「市民1スポーツ、1文化」をかかげてほしい。口だけでなく、いろいろな所に展示、パンフレットの所などに記載してほしい。
	③ 今、応援していただいているが、若い人達が仕事をずーっとしており、「習い事をしたくてもできない」と言う人が多い。幼・小・中からつなげる事とずーっと文化が大切と伝えてほしい
富士宮市母親クラブ連絡協議会	① 記してあるすべてが子供が成長するに必要。
	② 人が住むことを大切に。自然を残す。市民が憩える公園、水辺、食。老人が多くなるが、年齢で分かれるのではなく、いろいろな年齢が一緒に住む。
	③ 子育て支援は赤ちゃんが対象のようだが、児童館は今、18歳以上まで関わるので、幼・小・中・高などに関わりたい。
富士宮ロータリークラブ	① 農林水産業、商工業、観光などの充実を図り、富士宮市を裕福にする。
	② 青少年の育成を図る。
	③ 青少年の育成、生活困窮者への支援。
富士宮市スポーツ推進委員	① 市民1人、1スポーツを通じて健康寿命を長くする。
	② 競技する場所を増やす。 ①体育館 ②陸上競技場 ③グランド
	③ 軽スポーツの普及に市が積極的に取り組んでほしい。
NPO 法人富士宮市スポーツ協会	① スポーツ青少年の育成
	② スポーツ活動の推進のため、スポーツ施設の充実。中学校の部活動見直しに係る社会スポーツへの移動について活動の充実のための人材確保及び活動資金の検討。
	③ 卓球競技の T リーグの開催を充実させ、青少年及び一般競技の技術向上を図る。並びにハンドボール日本リーグ、女子ソフトボールリーグの開催の推進を図る。
富士宮市消費者連絡協議会	① -
	② 学校給食無償化
	③ 学校給食無償化

5. 都市整備

団体名	内容
富士宮西ロータリークラブ	① 富士山の水資源を活用し、商工業、観光に活かし水のある都市整備を行い、スポーツを通じた青少年の育成と、子育て世代が住みやすい街作り。
	② -
	③ -
公益財団法人富士宮市振興公社	① 富士山の玄関口にふさわしいまち
	② 公園の老朽化した施設の整備
	③ 公園緑地の利用促進、保全活動

富士伊豆農業協同組合	① 地域農業の発展と住みよい街づくり
	② 耕作放棄地・資材高騰対策
	③ 地域文化への貢献と農業振興
富士宮市母親クラブ連絡協議会	① 生活空間、水の町(富士宮)、緑地は大切。自然を大切に。
	② 人が住むことを大切に。自然を残す。市民が憩える公園、水辺、食。老人が多くなるが、年齢で分かれるのではなく、いろいろな年齢が一緒に住む。
	③ -

6. 市民生活

団体名	内容
富士宮市消防団	① 災害に強い町 安心安全な町
	② 消防本部 消防団との連携を強化していただきたい。消防団員の減少に歯止めがかからない 自助努力では限界を感じる。市職員にも参加願いたい 男女問わず。
	③ 市民の防災意識の高揚 消防団の市民への認知 市職員との大規模災害時の連携強化
静岡県交通安全協力富士宮地区支部	① 交通事故を1件でも削減するため、市民の交通安全意識を高めていく。
	② 市が中心となって、事業所や各種団体などに交通安全運動の推進を働きかけること。
	③ 主体的に交通安全運動全体を牽引していきたい。
富士宮中央ライオンズクラブ	① 幼児、小学生の子供たちと、シニアの方々が交通事故等の災害に見舞われない環境
	② 交通事故発生メカニズムの解説からの対策
	③ 地域を取り込んでの交通安全対策のマクロ的なものから、意識向上の活動
公益財団法人富士宮市振興公社	① 誰もが暮らしやすいまち
	② 市民の利便性向上に関する DX の推進
	③ 社会教育活動、市民活動、国際交流活動の推進及び支援
富士宮市防災指導員	① -
	② 防災マップ、富士山火山避難行動マップ等市民に配布で終わらず、出前講座等で市民に理解してもらうための取り組みをしてもらいたい。ヘリポートの整備(防災用ヘリポートが学校のグラウンドの為砂ぼこり等が舞い上がり使用に障害あり) 避難所のバリアフリー化と避難者のプライバシー保護のための整備
	③ 防災訓練、出前講座等で市民への防災意識の高揚に努めたい。
国際ソロプチミスト富士宮	① -
	② 人権を守る事を希望、貧困を救済してほしい(一人親世帯など)母子家庭等
	③ -
ふじさんシニアクラブ富士宮	① 交通機関 医療費(介護保険員)
	② -
	③ -
富士宮市地域女性連絡会	① 市民生活展に参加 防犯・公共交通に会合で参加
	② -
	③ -

ふじのみや女性の会	① -
	② 実現可能な施策の計画をたて、市民を巻き込んで実践していく
	③ -
富士宮市文化連絡協議会	① コミュニティーはでき、つながりがあり良い。国際的にも市の代表文化団体として韓国にも行き交流を深めた(市の交流都市 栄州市(ヨンジュ))
	② -
	③ -
反核富士宮市民のつどい実行委員会	① 核廃絶を求める市民意識を高める施策。市民団体の育成、活動援助。
	② 中学生 広島派遣事業の継続
	③ 映画界、講演会等
富士宮市母親クラブ連絡協議会	① 犯罪がなく、交通も整理され、人々が安心して生活できることが大切。
	② -
	③ -
新日本婦人の会 富士宮支部	① 「核兵器廃絶平和都市宣言」制定40年の富士宮市として、核廃絶への積極的行動をさらに推し進めてほしい。 宮バスをもっと使いやすく、ルートの再考・増便に取り組み、外出もままならない市民が安心できる市に。
	② -
	③ 宮バスの現状調査、アンケートなど(前回、市で行った宮バス、宮タクアンケートは利用すらできない市民が除外されていました)
富士宮市消費者連絡協議会	① 次世代までを考えた消費者でありたい
	② -
	③ -

7. その他

団体名	内容
富士宮ライオンズクラブ	① 富士山世界文化遺産のある街にふさわしい景観づくり
	② ・伏流水を有効活用しきれいな状態を維持したままの水路(生活排水とのすみわけ) ・電線を地中に
	③ 全ての奉仕事業
富士宮高校会議所	① 富士宮市民特に若い人が主人公になれるような場面を多く創出した方が良い。
	② 富士宮市民が主人公になれるような場面を創出する市役所の担当ができると良い。
	③ 富士宮高校会議所は、10年後、20年後を目指した人づくり活動を行って行きます。富士宮市役所には、ぜひ、サポートをお願いしたいです。
富士宮フードバレー推進協議会	① ①産業:食の豊富な資源を生かした産業振興 ②健康福祉:食の環境の調和による安全・安心な食生活 ③教育文化:「地食健身」「食育」による健康づくり ④その他:食の情報発信による富士宮ブランドの確立
	② ①産業:販路拡大、6次産業化、観光との連携、食のネットワーク化 ②健康福祉:減農薬の推進(食の安全性)、循環型システムの確立、食品ロス ③教育文化:地場産品活用講座、ライフステージごとの生涯食育の推進 ④その他:水による付加価値向上、

富士宮信用金庫	ブランド化と食の交流、人口の増加
	③ -
	① 地域産業の活性化、雇用の場の確保、優良企業の新規進出、地域事業者の事業拡大、創業支援
	② ①と同じ
	③ ①と同じ

富士宮市の総合計画に対する意見（自由記述）

団体名	内容
富士宮市消防団	少子化への早急な対応 老人介護の支援 思いきったものを期待する。
保健委員協議会	観光場所や施設は市民は無料にしてもらえると、富士宮の良さ魅力を PR しやすいと思う。 市の活性化のアイデアも市民から出やすくなる様な気がします。
富士宮市学校警察連絡協議会	全国的に出生率の低下が顕著ですが、子育てがしやすい環境となるようなまちづくりを推進していただきたいと思います。
富士開拓農業協同組合	安心して衣食住できる環境、市街化調整区域への定住者を促進や住宅建設規制の緩和。
静岡県交通安全協力富士宮地区支部	今年7月、国道 139 が交通事故のため半日通行止めになり、市内全域の道路が激しい渋滞で大変な混乱が生じた。市として警察と連携して同報無線などで市民に情報提供するなどの対策が望まれる。
特定非営利活動法人富士宮市手をつなぐ育成会	目標設定も大切ですが、個々人の幸せを大切にする計画 ニコニコ毎日過ごせる生活が一番… 底辺の方々も「しあわせ」と感じる総合計画を望みます。
富丘こども園(富士宮市民間保育園園長会)	富士宮市街の活性化を図り、「富士山の町」として、観光客がにぎわう町づくり。
精神保健福祉ぬくもりの会	計画だけ作っても、どの程度実施されているのか、しっかりと検証する。
一般社団法人富士宮市歯科医師会	富士宮市は歴史的、地理的な特性から地域社会の格差はいまだあることが推察される、市民からの意見も重要だが、そのバイアスを検討し科学的な調査研究からの計画も必要と思われる。
一般社団法人富士宮市医師会	新型コロナウイルス感染症への対応には、行政としてたいへん苦勞されたと思いますが、今後、新興感染症が発生した際の対応についての視点。
公益財団法人富士宮市振興公社	多様化の時代を迎え、行政の役割がより重要になってきていると考えますが、非常にきめ細やかな計画ととらえておりますので推進していただきたいと思います。
NPO 法人母力向上委員会	取り組むべき事業として以下を挙げます。・市民子育て応援事業(子育て層以外の市民が子育てを応援する街。講座や認定など。)・産院選択自由化事業(産院で、無痛・水中・立ち合い、母子同室など多様なニーズに応えられる街。)・子育て情報統一事業(ポータルサイトかアプリ活用かでお出かけ情報も園情報もすべてまとまったところを作る。)・子育て応援企業増幅事業(社員に対して子育てを応援している企業を増やす。役員などをしてると基本給に+のある企業も。)・乳幼児子育て世代が災害弱者にならない事業(福祉避難所など)・子育て(大変)イメージ改善事業(子育ては大変だと思う子どもが多いと将来の子育ての希望もなくなる。)・孫とおでかけ事業(富山県がいくつかの市と協働で行っている。証明は必要なく孫とお出かけすると公共施設入場無料など。)・官民連携による子育て支援ネットワーク構築事業(市の事業だけではなく子育て支援者が横につながったり、その情報を子育て層が知ることができる環境整備)・大型ショッピングモール子育て支援センター化事業(清水町のサントムーン・山口・愛媛・横浜・静岡市などがやっている。支

	援を身近に。一時預かりもあることでリフレッシュにも。)・温泉施設で産後ケア事業・ネウボラの伴走支援事業(母(父)に伴走するピアサポーターを養成し、子育てすると担当先輩ママがつく。母の活躍と情報を届けることの両方が両立する。)・パパがパパ養成事業(先輩パパが子育てについて新米パパに伝えていく)・富士宮をもっと好きになる事業(市内外にいる発信に興味のある人向けのツアーなどで富士宮のことを発信してくれる人を増やす)・伝わるプロモーション事業(富士宮市でもすでに取り組んでいることが知られていないことが多い→少子化突破戦略課設置など担当課ではなく横断的に担当する課が必要。)
富士宮市学校給食を考える会	オーガニックビレッジ宣言を総合計画に、きちんと位置づける。
富士宮高校会議所	住んで良し、生んで良し、働いて良し、学んで良しと、市民が本気で言えるような総合計画をお願いしたいです。具体的には、子ども等のサポートが進み、人口増加をしている市町村があるので、良い政策を取り入れて将来の総合計画を作成して欲しい。
国際ソロプチミスト富士宮	税金のむだ使いをやめてほしい。税金、市の会計等、市民にわかるように透明化を希望
富士宮信用金庫	「第5次富士宮市総合計画」にもある富士山の恵みを生かした産業、雇用に対して支援できるように取り組んでいきたいと思います。
(公社)富士宮市観光協会	富士宮市の知名度を上げる施策の実行
富士宮子どもと読書の会	効率、時短が優先され子どもに寄り添う大人が減ってきている。大人の生活改善が必要。大人の都合で子どもが置き去りにされている。11.3%しかいない子どもにひとりも脱落することなく大人になってもらいたい。そのための環境づくりや支援をお願いしたい。また、不登校など生きにくさを感じている子どもの支援も！
ふじさんシニアクラブ富士宮	高齢になれば介護が必要となります。施設に入らず自宅での声が多くなってくるように思います。介護者には手当を出すとかの援助を。
富士宮市地域女性連絡会	②県の遺産センターの利用を検討してほしい。富士宮にせっかく貴重な建物があるのに市との関わりが薄いように思われる。レベルが違うかもしれませんが、紙芝居を取り入れて頂ければと思います。
富士山の自然を守る会	静岡県には富士山ネットワーク事務局(静岡県くらし・環境部自然保護課内)があり、自然保護団体や企業などを網羅して富士山の自然環境保全に尽力しています。この1つに富士山エコレンジャーがあります。市内にもエコレンジャーの方はいますがごく少数です。富士山の自然環境保全を考え、実践していく青少年の育成を総合計画に盛り込んでいただきたい。
表富士宮口登山組合	富士山表富士宮口登山のマイカー規制時の登山者数の管理、環境保全について課題を整理し、地域の魅力を高めることが大切
富士宮市文化連絡協議会	私達の団体は、40年以上にわたり、市の為、自分たちの技術をみがきいろいろな所で文化向上の活動をしています。これからは子どもも少なくなり老人大国になりますが、文化が退化しないようにしてほしい。文化の高い富士宮市にしてほしい。文化人・文化都市は人に高度な温かみを伝えます。
反核富士宮市民のつどい実行委	市民運動への援助。財政。人材。

員会	
富士宮市母親クラブ連絡協議会	子どもは愛情をかけて育てていくことが将来の富士宮市の為になる。まずは人育てが大切。
NPO 法人富士宮市スポーツ協会	中学校の体育施設及び用具の充実を図り、中学校の部活動の夜間実施ができる体制を図る。
新日本婦人の会 富士宮支部	年をとっても安心して暮らせる富士宮市にしてください。
富士宮市消費者 連絡協議会	「食」はとても大切。給食の充実と無償化。
田貫湖キャンプ 場運営委員会	田貫湖キャンプ場の施設整備(具体的には施設の利便性や老朽化に対する施設整備)

市民提案の実施報告

1 募集概要

第6次富士宮市総合計画の策定にあたり、主に基本目標別計画における個々の施策の検討に活用するため、市民からの提案を収集した。

募集概要は下記のとおり。

図 市民提案募集概要

募 集 内 容	富士宮市のまちづくりに対する自由な意見・提案
募集対象者	富士宮市民
募 集 期 間	令和6年10月1日から10月31日
提 出 方 法	下記の ~ のいずれかの方法で企画戦略課に提出。 電子申請(インターネット) 窓口へ直接提出 郵送 電子メール
提 出 内 容	- 氏名 - 電話番号 - 住所 - 提案内容のカテゴリ(環境、産業、健康福祉、教育文化、都市整備、市民生活、市民参加・行財政、市政全般、その他) - 提案内容
周 知 方 法	- 広報ふじのみや10月号に掲載 - 富士宮市ホームページに掲載

2 結果概要

2-1 提出件数及び提案内容のカテゴリ

提出件数は、8件であった。

提案内容のカテゴリは、環境1件、都市整備1件、市民生活2件、市政全般1件、その他3件であった。

2-2 提案内容

主な提案内容は下記のとおり。

なお、提出された1件の中に、複数の提案内容が記載されている場合があるため、提出件数と、下記に箇条書きで示した提案内容の数は一致しない。

図 市民提案の主な内容

カテゴリー	主な提案内容
環境	- 太陽光発電設備をする場合は、雨水排水処理を敷地内で完結し、隣地に迷惑を掛けないことを条件に加えてほしい。 「富士宮市富士山景観等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例施行規則」について、抑制区域図以外に土地利用構想図(土地利用計画図)にリンクを貼る等の改訂をしてほしい。 「富士宮市富士山景観等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」が定める説明会・説明について、住民と事業者の間の情報の質及び量並びに交渉力の格差を考慮に入れた条例に改め、どんな点に注意して聞いたり質問したらいいか市民(情報弱者)に指導するのが、市民の生命身体の危険を第一に気遣う、市の職員の責務ではないか。さらに、抑制区域の範囲を図上に正確に落とし込んでほしい。
都市整備	岳南北部幹線都市計画道路に沿って、富士宮市富士根交流センター建設工事が進行中だが、この計画道路に交流センターの駐車場が接面する計画になっているので、計画道路のモデルとして、交流センターの区間だけでも整備することはできないか。
市民生活	- 子供向け室内遊び場の建設を希望。ターントクル(焼津市)、浜松こども館(浜松市)、富士山のぬく森キボキボ(山梨県)のような乳幼児から室内遊びができる施設が欲しい。 - 自治会を脱退した際のごみ集積所の利用について、富士宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例に明記するのがよいのでは。
市政全般	道路沿いの土地で枝が道路にはみ出していて10年以上に亘って処理してくれないことに対する対処方法として、東京都台東区に倣い、条例改正するのがよいのでは。
その他	- 活火山富士山を抱える富士宮市民としては、防災施策について、政府の理想の実現に遅れることなく、むしろ足並みを揃える位に日々政府の発する情報収集に努め、出来ることは即座に実行する等、政府にしっかり追随してほしい。 - 避難所を使っでの避難訓練を是非お願いしたい。 - 備え付けの防災倉庫には是非「TKB48」の整備をしてほしい。トイレ・キッチン・シャワーを整備してほしい。